

前回委員会での検討内容等の確認について

第4回 検討委員会 資料

令和3年2月24日（水）

近鉄小倉駅周辺地区まちづくり検討委員会

事務局 宇治市都市整備部都市計画課

前回委員会での検討内容等の確認について

1 これまでの検討と今後のスケジュール

R1年度

第1回 R1/11/25

現況の把握

R2年度

第2回 R2/6/25

検討の進め方確認

地区の特性確認

駅構造の紹介

第3回 R2/10/16

まちの将来像の検討

駅構造の検討①

課題の抽出

アンケート調査（府立大学）

今回

第4回 R3/2/24

駅構造の検討②

短期（早期）課題の検討①

中長期課題の整理

R3年度

第5回 R3/4～6

短期（早期）課題の検討②

中長期課題の検討①

第6回 R3/7～9

中長期課題の検討②

基本構想（原案）



☆意見交換会（意見聴取）

第7回 R3/10～12

基本構想（素案）



☆パブリックコメント
（意見聴取）

第8回 R4/1～3

基本構想（案）

2 前回委員会で確認したポイント

1) 各ゾーンにおける将来像（案）（第3回資料より再掲）

各ゾーンにおける将来像（案）

駅前ゾーン

駅アクセス性の改善

鉄道による地域分断改善

まちの玄関にふさわしいにぎわいのある空間の創出

- ▶ バリアフリーで東西へアクセスしやすい駅
- ▶ 送迎エリアのあるアクセスしやすい駅前
- ▶ 人の交流・多様な商業施設などでにぎわう駅前

駅西住宅ゾーン

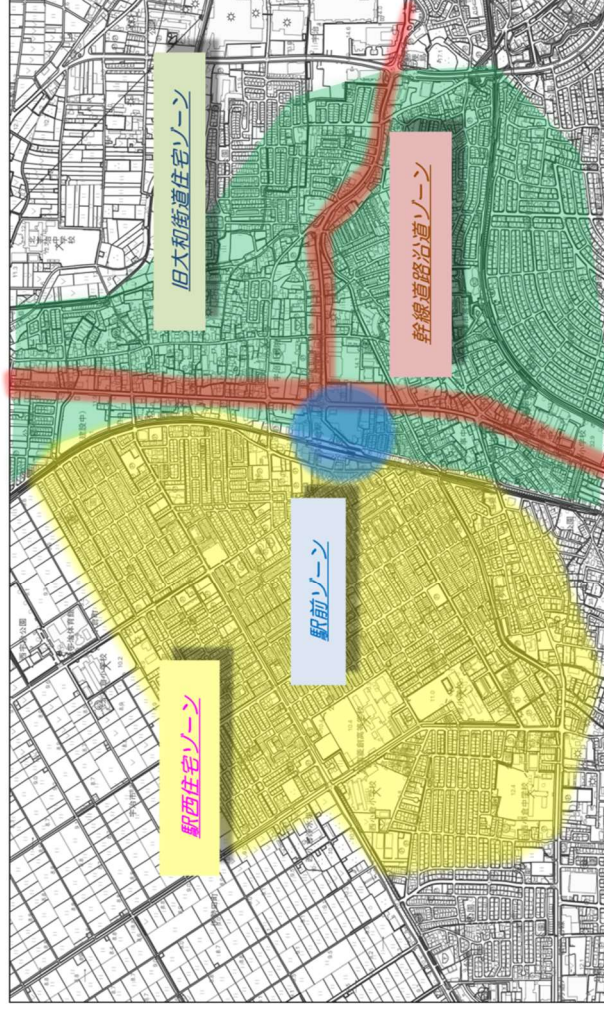
生活利便性の向上

商業ポテンシャルを活かしたにぎわいの創出

防災性の向上

住環境の改善

- ▶ 生活と商いが融合した活気あるまち
- ▶ 安全で暮らしやすい住宅地



駅西住宅ゾーン

駅前ゾーン

幹線道路沿道ゾーン

旧大和街道住宅ゾーン

幹線道路沿道ゾーン

生活利便性の維持・向上

住環境の改善

- ▶ 良好なアクセス性を活かした商業施設などによる、にぎわいのある沿道

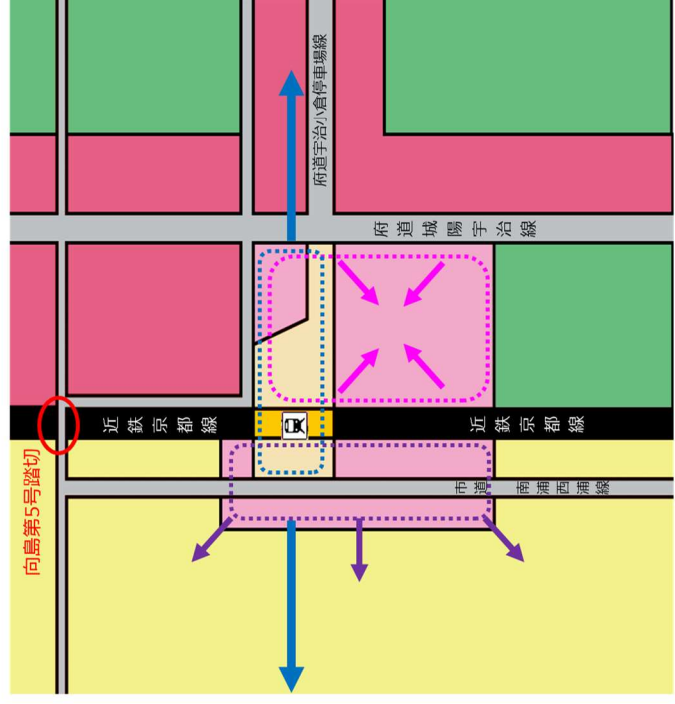
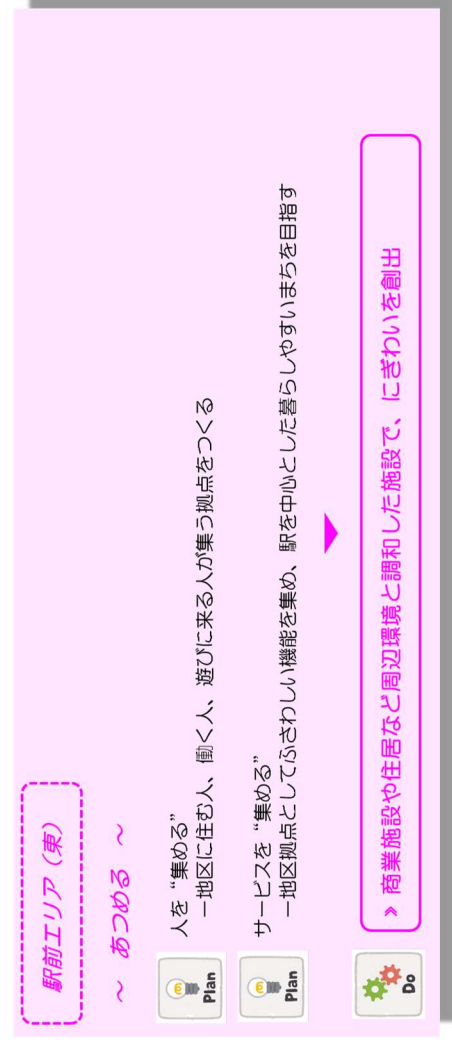
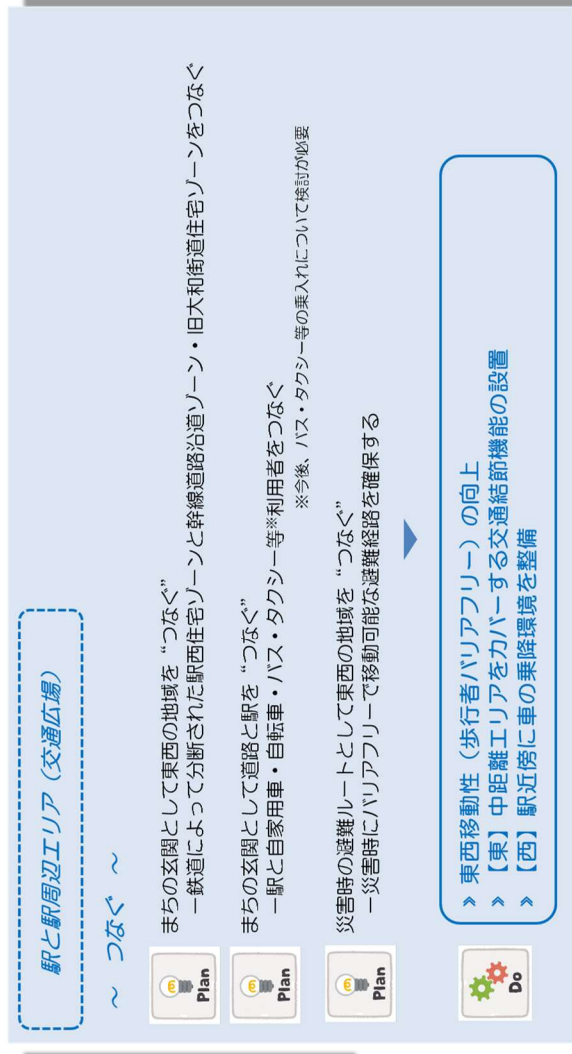
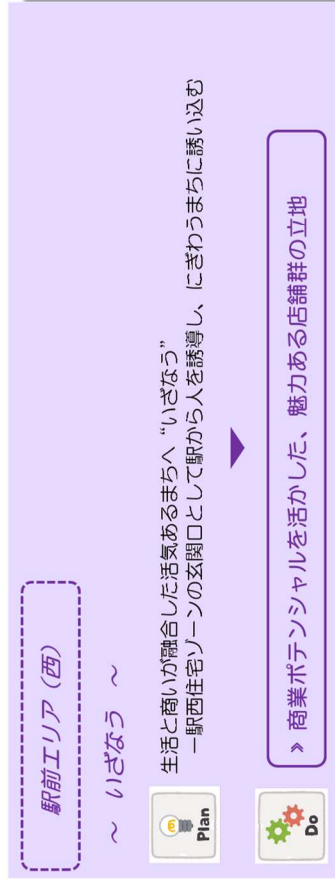
旧大和街道住宅ゾーン

“ふるさと”のまちなみ継承

- ▶ “ふるさと”のまちなみを活かした住宅地

2) 駅前ゾーンにおける各エリアの機能 (案) (第3回資料より再掲)

駅前ゾーンにおける各エリアの機能(案)



駅前商業地
 駅西住宅ゾーン
 幹線道路沿道ゾーン
 旧大和街道住宅ゾーン
 交通広場

1) 公共施設の立地状況

【前回委員意見】

- 『施設数としては大きく不足している状況ではない』とあるが、他地域と比べ、人口あたりの公共施設の数などで比較するとどうか。
- 施設の整備を考える際に、人口 1,000 人当たりなど色々な指標で示すと理解しやすい。



市内の駅周辺半径 1km 内での施設数、人口 1000 人あたりの施設割合を確認（図 1-1）

- ▶公共施設の分類は様々であるが、市内各駅を中心とした半径 1km 内に立地する公共施設数を比較すると、近鉄小倉駅周辺地区は市内でも多い方である。
- ▶上記の施設数を当該範囲の人口あたりの割合に換算し、各駅で比較すると、近鉄小倉駅は市内 14 駅のうち 7 番目の割合となっている。（表 1-1）

- 人口あたりの施設配置割合は、市内 14 駅周辺地区の中で中位
- 駅周辺まちづくりを考えていく中で、公共施設の利便性を見直し、可能な限り公共施設の規模及び配置の適正化について検討していくことも必要

2) 火災時の消防水利施設の配置

【前回委員意見】

- 消火栓等の消防水利施設の配置は十分か。



地区内の消防水利施設（消火栓、防火水槽）の配置状況を確認（図 1-2）

- ▶一般的な消防水利施設の設置基準である「120m」を基に消火栓・防火水槽のカバー範囲を描くと、地区内の居住区域は、その範囲内にある。（図 1-3）

- 現状の消火栓・防火水槽の配置で、地区全体をカバーできている

3) 駅前ゾーンにおける各エリアの機能（案）について

【前回事務局説明】

- 駅前ゾーンの『駅と駅周辺エリア（交通広場）』に関係する駅舎・駅前広場の整備については、周辺土地利用の状況も踏まえて早期に検討すべき短期課題。
- 駅舎・駅前広場の整備の必要性も含め、第4回以降の委員会で検討に着手する。
- 上記以外の課題は、第4回以降の委員会で、着手時期が早期なのか、中長期なのかということ区分し、解決手法についても提案していく。



● 議題2 『まちの課題に対する検討について』で確認する

4) 鉄道による地域分断改善のための手法について

【前回委員意見】

- 各手法を採用した場合の『効果の種類・大きさ』が大事
- 概算事業費について、宇治市がいくら負担する可能性があるか示したほうがよい
- 効果発現までに要する時間についても、概ね何年ぐらいなのか数字があったほうがよい。
- まちなみの影響のところで、『連続立体交差が区画整理事業をするので既存コミュニティの存続が難しいエリアが発生』とあるが、これは今回の東西の地域分断を改善するためのこととは別のこと。
- 駅前広場の設置要否に、『駅東側のみに送迎エリアを一元化することは困難』とあるが、それであれば駅西側をどうするのか。



● 議題3 『鉄道による地域分断改善のための手法について』で確認する

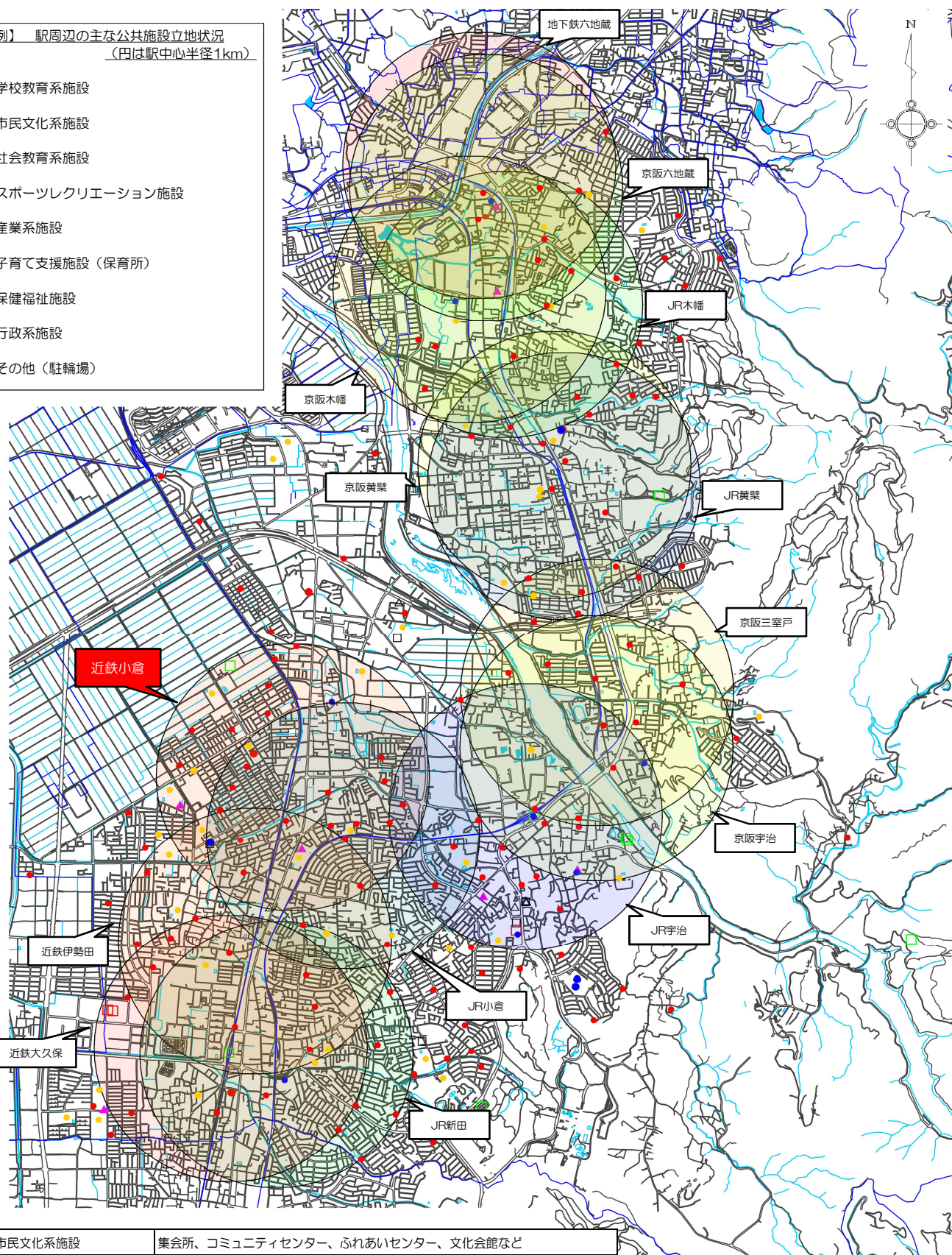


図1-1：主な公共施設の駅周辺における立地状況

表1-1：駅周辺の公共施設数

駅名	分類	学校教育系施設	市民文化系施設	社会教育系施設	スポーツレクリエーション施設	産業系施設	子育て支援施設	保健福祉施設	行政系施設	その他	計	駅1km内人口（人）	施設数/駅1km内人口（千人）	順位
JR六地蔵		3	10	2	0	0	2	0	0	4	21	10,955	1.92	2
地下鉄六地蔵		2	8	1	0	0	2	0	0	3	16	10,955	1.46	4
JR木幡		4	16	2	0	0	2	0	1	4	29	26,159	1.11	11
JR黄檗		6	17	1	1	0	0	1	1	2	29	20,715	1.40	5
JR宇治		4	18	5	3	1	3	2	3	2	41	17,253	2.38	1
JR小倉		6	21	1	0	0	1	2	1	5	37	35,692	1.04	12
JR新田		5	14	1	0	0	0	1	0	3	24	24,396	0.98	14
京阪木幡		3	12	3	0	0	2	0	1	4	25	21,506	1.16	9
京阪黄檗		6	16	1	1	0	0	1	1	2	28	22,237	1.26	6
京阪三室戸		2	16	1	0	0	0	1	0	1	21	17,256	1.22	8
京阪宇治		2	12	4	3	0	2	0	0	3	26	17,132	1.52	3
近鉄小倉		8	23	2	1	0	2	1	1	4	42	33,669	1.25	7
近鉄伊勢田		7	16	1	1	0	1	2	1	4	33	29,088	1.13	10
近鉄大久保		4	13	1	1	2	0	1	0	3	25	25,072	1.00	13

施設の分類

市民文化系施設	集会所、コミュニティセンター、ふれあいセンター、文化会館など
社会教育系施設	図書館、公民館、青少年センターなど
スポーツレクリエーション施設	観光センター、植物公園、黄檗公園、西宇治公園など
産業系施設	産業会館、産業振興センター
学校教育系施設	幼稚園、小学校、中学校
子育て支援施設	保育所
保健福祉施設	地域福祉センター、保健・消防センター、総合福祉会館など
行政系施設	市庁舎、消防署
その他	駐輪場

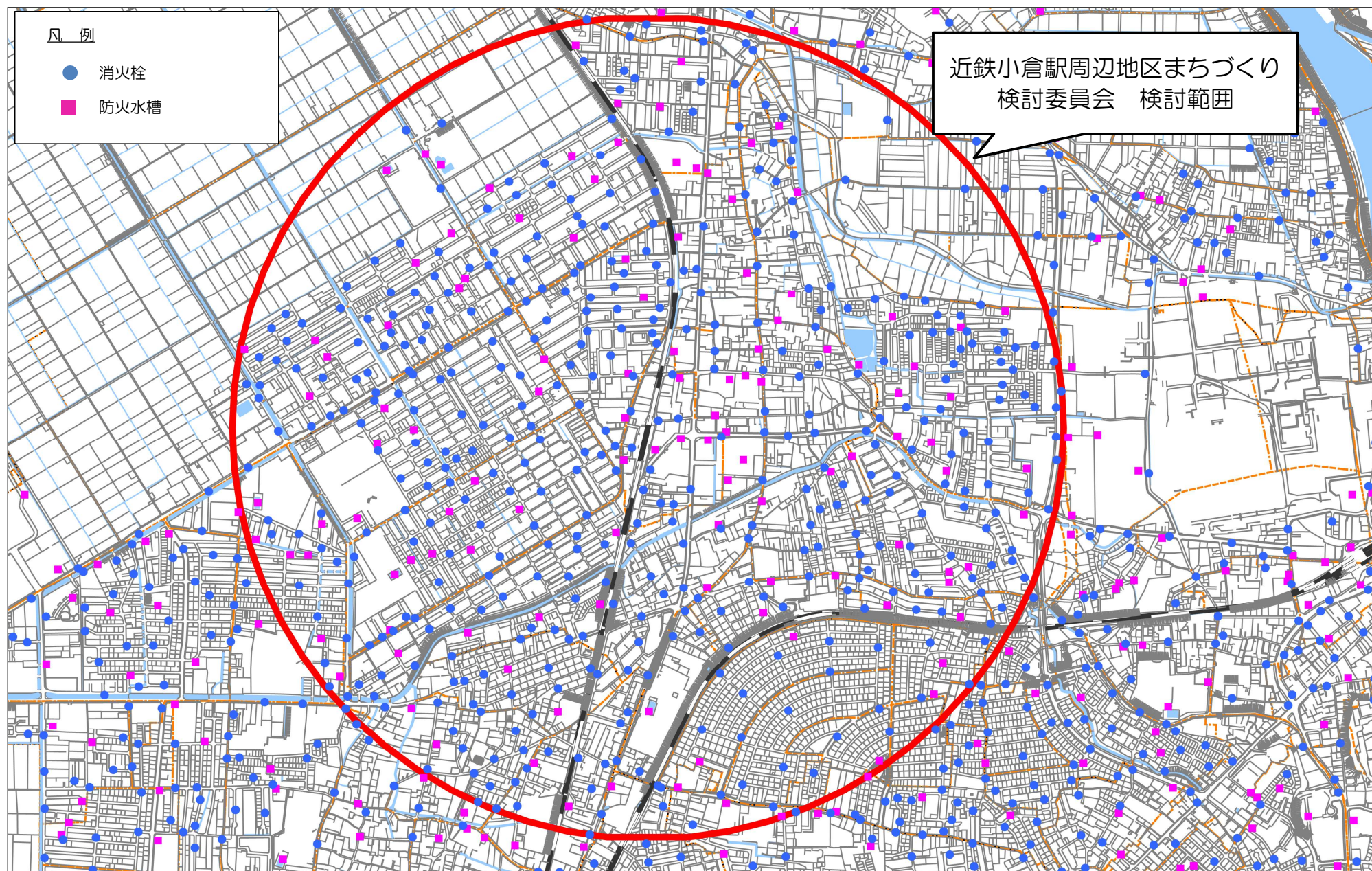


図1-2 近鉄小倉駅周辺地区 消防水利施設分布図

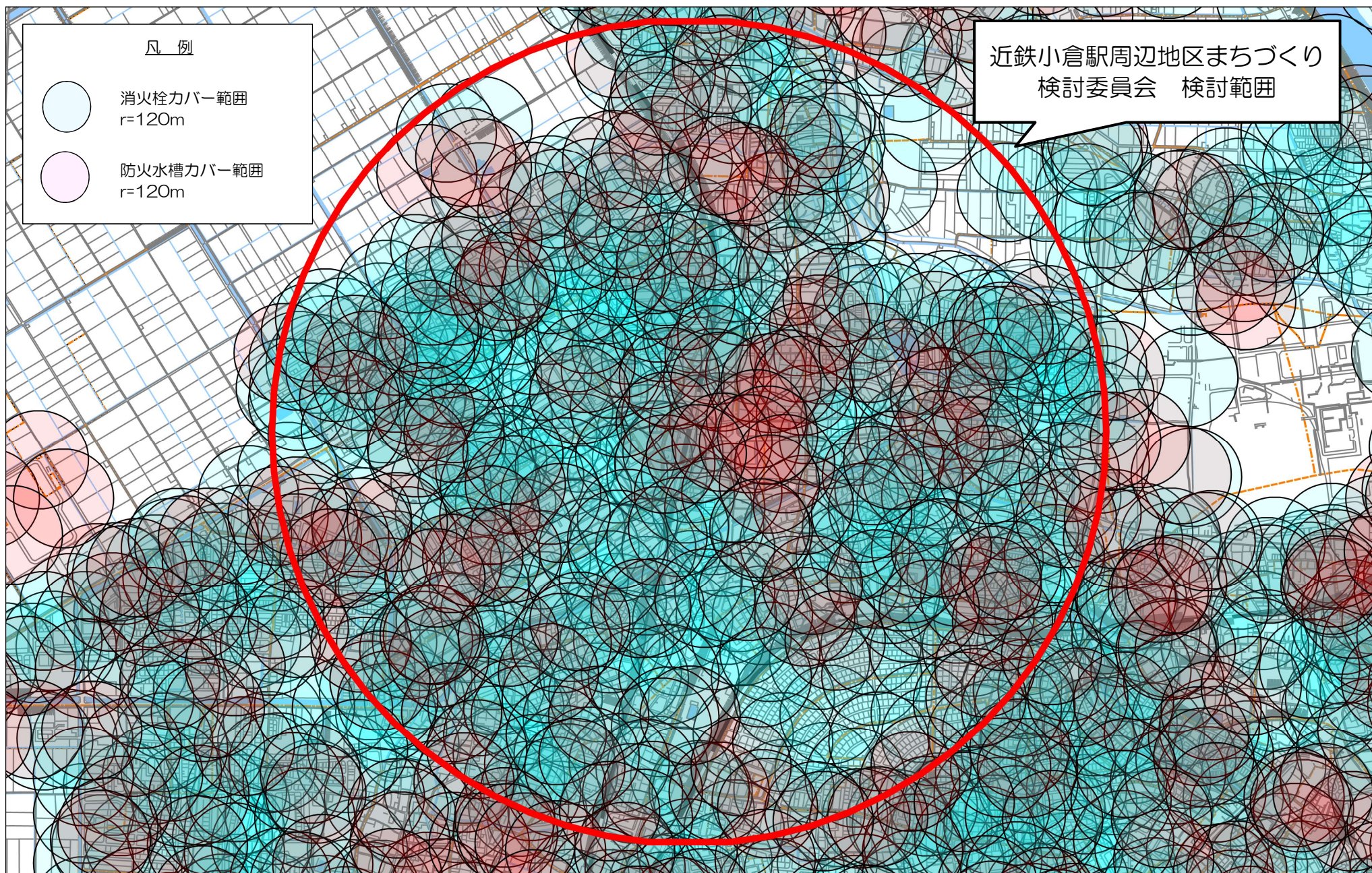


図1-3：近鉄小倉駅周辺地区 消防水利施設カバー図